

明野通信

(題字：日野伸一校長 筆)

大分工業高等専門学校広報

第 127 号

2019年2月15日

大分市大字牧1666

TEL (097) 552-6075

<http://www.oita-ct.ac.jp/>



同窓会設立50周年記念講演会
平成30年10月31日(水) 第1体育館



記念講演会講師との質疑応答懇談会
レクチャーホール

目 次

巻頭言〔校長〕	2
主事室便り	3
卒業おめでとう	4
専攻科修了おめでとう	8
退職者及び新任職員挨拶	9
機械工学科通信	10
電気電子工学科通信	11
情報工学科通信	12

都市・環境工学科通信	13
専攻科通信	14
各種報告	15
学生会便り	16
寮生会便り	18
留学生通信	19
卒業生の進路	20

巻頭言

本校の教育方針は
一貫して「愛の精神」にある

校長 日野 伸一



平成30年度もまもなく年度末を迎えようとしています。昨年4月に新米の校長として不安を抱えて本校に着任した私も、3月の卒業式や終業式を終えると、学年歴の一巡を経験し、何とか落ち着きを迎えられそうな気がする今日この頃です。

先ず冒頭に、明野通信の前号(第126号)において、私の執筆した巻頭言に欠落がありましたので訂正させて戴きます。それは、平成30年4月、私と同時に本校に着任した3名の新人教員をご紹介しましたが、それに渡辺正浩教授と十時優介講師(いずれも情報工学科)の2名が欠落しておりました。以上、訂正してお詫び申し上げます。

さて、5年一貫教育で専門基礎技術力と教養基礎知識を兼ね備えた実践技術者人材を育成するという本校の本科およびプラス2年の専攻科での日々の教育カリキュラムは、その時々の社会的変化に対応して、逐次改定を繰り返しながら、多くの卒業生および修了生を社会に輩出してきました。今年度も、学生諸君の頑張りのおかげで、求人倍率がほぼ28倍という売手市場のなか、希望する就職先にほぼ全員が内定を勝ち得た状況ですし、また大学等への編入学や大学院への進学者数も例年同様に好調な成績を維持していることは、まずもって喜ばしい限りです。

また、日々の学習活動だけでなく、夏の高専体育大会や文科系の各競技会、そして学生会が中心となって学生自らが企画、実施する秋の三大祭りともいわれる高専祭、体育祭および音楽祭も、それぞれ学生諸君が一致団結して無事にやり遂げましたね。これらの諸活動は、健全な

心身を鍛えるとともに、みんなで協力しながら一つの目標に向かって努力、邁進するというチームワーク力、協働性を養うという意味で、きわめて重要な学校教育の一環だと考えています。ただし、それには毎日の学習と課外活動を両立させて一生懸命に取り組むということが当然ながら前提でなければなりません。苦しい試練を乗り越え勝ち取った勝利や成績はこの上なく嬉しく、また逆に思うようにいかなかった敗北や不成績はこの上なく悔しいものです。いずれも、次への更なる躍進あるいは雪辱・挽回へのエネルギーとなり、それが自ずと人としての成長につながるものと確信しています。

今年度の特筆すべき本校関連行事として、同窓会「明愛会」の創立50周年記念行事が挙げられます。昭和38年(1963年)に設立された本校の第1回卒業生が出た昭和43年(1968年)から数えて50年目となる昨年11月3日に盛大な50周年記念祝賀会が、多数の卒業生や恩師の先生方の列席の下に開催されました。私はじめ、本校の教職員も招待され、みんなで学生時代の思い出や母校の今昔に話の華を咲かせました。あらためて、本校の55年にわたる伝統と現在のステータスともいえる対外的評価の高さは、本校の確固たる教育方針と歴代の教職員の方々による愛にあふれた真摯な教育への取り組み、そしてその下に育った卒業生たちの活躍と母校愛によるものであることを強く再認識しました。

ここで、皆さんに、本校の教育上のスローガンとして掲げた教育目的を思い出して戴きたいと思います。それは、「人間性に溢れ国際感覚を備え、探求心、創造性、表現能力を有する技術者を養成する」ことです。今や、産業、経済、社会構造が大きく、かつ急速に変革しグローバル化するとともに、地球規模でのさまざまな環境変化が進む複雑かつ多様化した時代に対応可能な人材育成が求められています。そのためには、自ら課題を発見し、課題解決に向けて周囲と協働しながら主体的に取り組むことのできる素養を身につける必要があります。本校で

は、それを実現するため、次の5つの学習・教育目標を掲げています。①愛の精神、②科学や工学の基礎、③コミュニケーション能力、④技術者としてのセンス、⑤専門工学の活用、です。いずれの大学や高専などの高等教育機関でも学習・教育目標は設定されており、上記の②～⑤は多少の表現の違いはあっても共通的に設定されていますが、本校のように「愛の精神」を、しかもいの一貫に掲げた例は、本校以外に私は知りません。本校の創立者である初代校長、松尾春雄先生の強い思いが込められた表現です。本校の開校式での校長訓話の中で、「日本興隆の柱となる技術者は、技術そのものが優秀でなければならないのは勿論であるが、その技術を愛の精神が生きさねばならない、愛の精神があれば協調性のある誠実な技術者が生まれ、その技術が社会の役に立つようになる」と述べられています。

もう一つ、私が前任地の九州大学で工学部長を務めていた2009年秋に、卒業生でもある宇宙飛行士の若田光一さんが、3度目の宇宙飛行で137日間という宇宙での長期滞在から帰還後、母校を訪問してくれた際に、講演の中で在学生諸君に「夢・探求心・思いやり」という言葉を贈ってくれたことを思い出します。TV等を通していつも拝見する笑顔に満ち溢れた明るく温厚な若田さんの姿そのままのお人柄に接し、短い三つの言葉こそ、彼の生きしるべではないかと独断的に理解した私でした。今思えば、本校の教育目的にも相通じるものを感じる含蓄のある言葉ではないでしょうか。

在校生諸君、そして教職員の皆さん、本校の正門を入った正面に、若者たちが力を合わせて天に向かって逞しく伸びゆく姿を象徴したモニュメントの足元に、「AMOR OMNIA VINCIT(愛は全てに打ち勝つ)」と刻まれた大理石の石碑こそが、本校の55年にわたり一貫して込められた技術者教育の根幹であることを、今一度、見つめ直して皆さんの仕事に、そして生き方に活かして戴きたいと切望します。

主 事 室 便 り

卒業、修了、おめでとう



教務主事
高橋 徹

卒業生のみなさん、専攻科修了生のみなさん、ご卒業、専攻科修了おめでとうございます。心

からお慶びを申し上げます。また、保護者の皆様には、お子様の門出に際し謹んでお祝いを申し上げます。

この成果は卒業生修了生皆さんの入学以来、長い年月での学習と努力の賜です。大いに讃えたいと思います。そして、是非皆さん自身も誉れに思ってください。

卒業、修了までのあいだには、クラブ、旅行、実習などの貴重な体験や、読書、友人、尊敬できる人との出会いなど、たくさんの宝を得られたものと思います。どうか大切にしてください。そして、本校の学習教育目標（標語のみ）：(A) 愛の精神、(B) 科学や工学の基礎、(C) コミュニケーション能力、(D) 技術者としてのセンス、(E) 専門工学の活用、は、皆さんが卒業、修了後も目標として大切にしていきたいと願って設定しているものです。

この「愛の精神」について触れたいと思います。モニュメントの傍らに「AMOR OMNIA VINCIT」と掲げられています。カール・ヒルティは、「愛によればあらゆることに打ち勝つことができる。(中略) この愛は生まれながらに自然に備わっているものではなく、各自の決意によってはじまり、(中略) そして学び続けるべきものである。愛を持つことができれば何にもまして多くの力と知恵と忍耐力が与えられる。」と語っています（「Für schlaflose Nächte」から抜粋意識）。技術文明が進み、経済や社会がグローバル化し価値観が多様化するなかで、一人一人が技術者として確かな芯を持ち、力強く心優しく豊かに生きていくためのヒントになるかもしれません。本校建学以来、技術者像として掲げている「技術と教養と愛の精神」を大切に生きて、生き活きとご活躍されますことを願っています。おめでとう！

平成最後の卒業・修了を迎えて



学生主事
佐藤 達郎

平成最後の卒業式・修了式を迎えられた本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、卒業・修了

おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。新たなる旅立ちを目前に控え、希望と期待に胸を膨らませていると同時に決意も新たにしていることでしょう。

さて、この数年来、地震・豪雨・猛暑等大規模自然災害が頻発しており、様々な場面で防災・減災が叫ばれています。工学に携わる皆さんにとっては避けて通ることのできない喫緊の課題であることは間違いありません。就職して即戦力として働く人、学業の研鑽をさらに積む人、進む道は多様でしょうが、エンジニアとして取り組むべき課題は同じだと思います。大分高専で身に付けた知識と技能を基礎とし、社会を支え平成と次の時代を繋ぐエンジニアとして活躍されることを期待しています。何事につけても「平成最後の…」という枕詞が付きますが、平成の3分の2を過ごしてきた皆さんは、そういった意味では「平成の代表世代」と言えるかも知れません。他の平成を代表する世代とともに、しっかりと地に足を付け、次の時代の礎を築けるエンジニアになってください。

今年度、大分高専同窓会「明愛会」は設立50周年を迎えました。丁度半世紀です。輩出した卒業生は7000余名。皆さんもその一員に加わり、これからの明愛会を盛り立てて欲しいと思います。これからの在校生に対し「私は貴方達の先輩だ」と胸を張って言える皆さんを待っています。50周年を記念して、講演会、高専祭の花火、音楽祭への参加、クラブによっては現役とOBとの親善試合など多くのイベントが開催されました。母校愛の強い諸先輩方に倣い、大分高専を心の支えとし愛して欲しいと思います。

最後に、皆さんの洋々たる前途を祈念して卒業・修了に当たっての私からのエールといたします。おめでとう！

卒業、修了おめでとう



寮務主事
薬師寺 輝敏

明野寮寮生37名を含む卒業生・修了生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。皆さん良い就職

先・進学先を見つけ保護者の方も喜んでおられることと思います。4月から親元、または寮を離れ、社会人・大学生として一人暮らしになる大部分の学生は、これまであまり気にすることなく受けていたサービスが如何に恵まれていたかをすぐに実感することでしょう。食事やお風呂、ごみ捨て等自分でやらないといけません。部屋の鍵や窓を閉め忘れても閉めてくれる人はいません。通勤や通学に時間をとられるので早起きが必要です。朝寝坊をしても誰も起こしてくれません。病気になって動けなくなっても自分で何とかするしかありません。勉強を教えてください、悩み事相談や、寂しさを紛らす相手はすぐそばにはいません。人生の中で多くの新しいことに出会い、成長する時期であるこの5年間または7年間の寮生活は何ものにも代え難い違いありません。そして、文字どおり寮で同じ釜の飯を食べた友人は一生の宝物となることでしょう。今後も永くお互いの友情を温め、より豊かな人生を送ることができるように期待します。

卒業・修了にあたり、寮生は15歳の子供の希望を叶えるために、とても寂しい思いをしながら、家から明野寮に送り出した保護者の方に支えてくれた5年間、7年間のお礼を言いたいです。毎日の食事を準備してくれた、そして体調を気遣ってくれた食堂のおばちゃん、優しく相談に応じてくれた寮母さん、指導員の方々、寮管理棟で色々な要求に答えてくれた事務員の方々に最後の挨拶をして旅立ってください。歴代の主事や主事補に迷惑をかけた寮生は、立派に成長してから顔を見せてください。

卒業おめでとう! 大分高専の同級生として

機械工学科
5M担任 中野 壽彦

よく考えると、皆さんと私は大分高専の「同級生」になるのですね。大学院を卒業し社会人1年生として大分高専に着任した私に、最初に与えられた仕事の一つが、学生として1年生だった皆さんのクラスの副担任でした。2年生で副担任、そして3年生からは担任として、皆さんと共に大分高専での人生を歩んできました。この5年間の学生生活の中で、皆さんは様々な事に直面して、時には深く悩んだり、迷ったりすることがあったと思います。私もそうです。振り返ってみるとただ迷い、困惑し、悩みながら右往左往していただけただけの5年間でした。色々な相談を受けた際、先生=先を生きる人として、正しい回答を教えることができれば良かったのですが、実際は同級生のように一緒に悩むぐらいしか出来ませんでした。その点は皆さんに対して申し訳ない気持ちがある一方で、これは勝手な言い分ですが、皆さんの長い「人生」という舞台におけるささやかな登場人物の一人として、時間を共有できたことは私にとって大きな財産です。

印象に残っている事として思い返されるのは、体育祭や球技大会といったスポーツイベントですね。スポーツに掛け

る情熱や真剣さは面食らうほどで、さすが機械工学科の学生だなと思いました。球技大会では3年生と5年生の時に、体育祭では4年生の時にそれぞれ総合クラス1位を受賞するという、本当に目覚ましい活躍を見せてくれました。皆さんの持ち前の元気の良さは大きな宝です。色々あっても、元気さえあれば意外と何とかなったりします。健全な体と豊かな心を大切に、ずっと元気でいてほしいと願っています。

進路を決める際は、皆さん一人ひとり、悩んだり迷ったり、辛い思いをしたこともありましたね。微力ながら君たちの進路指導をしつつ、悩み苦しむ君たちから若者ならではの青春の輝きを感じていました。技術者として社会へ進出する人。学びを深めるため進学する人。新しい分野に果敢に挑戦していく道を選んだ人。人生という道の選択では正解や不正解は存在せず、ただ己の覚悟ひとつで肅々と選んだ道を進むのみ。まっすぐ進むのもよし、別の道に方向転換もまたよし。調子が良ければ走っていいし、疲れたら立ち止まって休めば良いです。明るく元気に力いっぱい、自ら選んだ道に挑戦してみてください。

今、社会の様々な構造の根本が大きく変化しています。皆さんがこれから関わる分野や業界でも、皆さんに必要とされる役割は次々に移り変わるはずです。「こうすれば良い」という模範解答はありません。視野は広くあらゆることに関心を持ち、常に分析と考察を深め、どうすべきかを判断する必要があります。ちょっとだけ、しんどいかもかもしれませんが大丈夫。客観的事実として断言しますが、皆さんはそうのように活躍するための資質と能力と持っています。「怠けずサボらずズルをせず」「自らを驕らず卑下せず」「謙虚に正々堂々と」していれば十分通用するので安心してください。

最後に、同級生としてのアドバイス。私たちの今があるのは、保護者をはじめ周囲の人たちの助けがあつてこそ。新たな道の出発前に、お世話になった方たちへ、心からの感謝の思いを伝えてください。そして今度は私たちが、他の誰かを助ける番です。

先輩たちのように、社会人として立派に成長した未来の皆さんの姿が楽しみです。暇やなあって時があれば、元気な姿を見せに来てくださいね。





卒業おめでとう!

電気電子工学科
5E担任 上野 崇寿



何度もこれを聞くとおもいますが、改めて言わせて貰います。

卒業おめでとうございます!長いようで短い高専5年間はとうとうどうでしたか。卒業証書にある、自分の名前を見て感慨も一入だったのではないのでしょうか。

これから皆さんは将来に向けて就職や進学といった様々な道へ旅立っていきます。高専の卒業は、区切りであり1つの通過点です。将来への希望と同時に不安も感じているのではないのでしょうか。不安を煽るわけではありませんが、この先の将来、どうなるか判りません。私も企業時代からこれまでに辛く、苦しく、恥をかき、イライラした経験は幾多あります。社会人になって犯した失敗の数は数えきれません。

しかしながら、失敗しない人生なんてありません。学校の成績ならいざ知らず、自分の人生でパーフェクトな成績を収めることは絶対にできません。これからの人生で失敗したってそんなに大したことではありません。

「一度も失敗をしたことがない人は、何も新しいことに挑戦したことがない人である (アインシュタイン)」という名言があるように、失敗を恐れ過ぎずに、新たな道へと歩いて行って貰いたいと思います。



四年 修学旅行

【卒業コメント】

- 相江 拓弥 5... じゃなくて3年間ありがとう最高でした
- 麻生 京兵 卒業おめでとう!このクラスで良かった!!
- 安部 翔太 5E楽しかったです 高専最高♡
- 池川 悠汰 領収書請求で迷惑をおかけしました...
- 出田 陸 チヂイ...
- 伊藤 将仁 生田絵梨花は俺の嫁
- 岩尾 啓太 卒業おめでとう
- 岩本 一希 卒業おめでとう!貴重な体験をありがとう!
- 宇都宮 玄 再試追認四十単位!!
- 宇都宮 優佳 5年間楽しかった!みんなありがとう!
- 梅本 恭平 秀先生、長年お疲れ様でした。
- 大城 貴史 卒業おめでとう!我が5Eは永遠です。
- 小関 文也 このクラスで5年間を過ごせて良かったです
- 小野 紘平 5年間楽しかった!ありがとう!
- 川村 松吉 卒業おめでとう!!上野研で良かった
- 紀野 正智 5年間みんなありがとう!楽しかったです
- 後藤 兼蔵 これで5Eは終わりです。
- 後藤 稜 5年間ありがとう!バイバーイ
- 佐藤 司怜 祝卒業!5年間楽しかったです。ありがとう
- 佐藤 暉 卍全員強制的に大分に帰ってもらいます卍
- 柴山 信之介 5年間おつかれ様です!
- 霜山 大和 最高の5年間やったー!!
- 園田 大雅 卒業アチす。荒野行動やろうよ。
- 多賀 大貴 お世話になりました。
- 高原 祥平 5年間ありがとう。同窓会行きます。
- 津代 啓斗 やせませ。
- 鶴見 颯太 卒業おめでとう
- 長田 亜希飛 クラクラに人生潰された
- 中村 風太 卒業おめでとう!我が5Eは永遠です。
- 西原 巧 卒業おめでとう
- 濱本 剛志 E13大好き!!!
- 原尻 駿吾 5年間楽しかったよ。
- 姫嶋 真輝 充実した生活を送れたのは5Eのおかげ。
- 平川 裕人 卒業おめでとう
- 廣戸 雄大 卒業おめでとう。楽しかったでやんす!!!
- 古門 瑞帆 5年は長いです。
- 村田 一陽 卒業おめでとう!!5年間ありがとう
- 梁井 俊希 ながかった
- 山口 智英 じゃあな
- 吉野 佑弥 みんなと喋っている時が一番楽しかったです
- 吉村 太一 忘れないで



五年 クラス写真



卒業おめでとう!

都市・環境工学科
5C担任 工藤 宗治

都市・環境工学科の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお喜び申し上げます。

ゲーテの言葉に「青年は教えられることより刺激されることを欲するものである」があります。皆さんはここ明野台地に5年前に集い、クラス全員で刺激し合い、勉学に、部活に、時には遊びに向き合ってきました。特にこの1年は卒業研究をはじめとするいろいろな科目で自学自習(共学共習)を進めてきました。卒業後は実社会への扉を開ける者、もう少し学問の道を究める者にそれぞれ航路を変えて飛び立ちますが、そこではまた新たな刺激が皆さんを待っています。時には困難な課題に直面するでしょう。でも皆さんならきっとそれを乗り越えることができます。期待しています。そしていつか一回りも二回りも大きくなった姿を、後輩に見せてください。私はそのときを今から楽しみにしています。

さあ皆さん、これまで支えてくれた全ての方々に感謝の気持ちを忘れず、明日(未来)に向かってTake off!!。



平成29年9月27日 研修旅行



平成30年5月15日 球技大会

●卒業生からのメッセージ●

(阿南)藤原先生、横田先生、工藤先生、ありがとう。(荒尾)☆みんなだいすきだよ☆(今村)舞鶴にしときゃよかった。(梅木)5年間ありがとうございました。(浦上)5年間ありがとうございました。(榎本)5年間、色々あったけど楽しかったです!ありがとうございました。(大橋)おまえら構力とコンクリはマジで単位とっけ。(大村)卒業しても頑張ります。(岡本)5年間あつという間!!みんなありがとう^^ (越智)5年間はやかった(TT)(片伯部)みなさん、学生の中に犯罪以外でできる事をしておいた方が良いですよ。(加藤)5年間で色々変わりました…楽しかった!ありがとう!またいつか!(清藤)卒業します。探さないでください。(工藤)高専に入っであつという間の5年間でした。体重もあつという間に24kg増えました。(小島)なんとかここまでこれた。(小谷)冷たいようで温かい、そんなクラスでした。Danke!(佐藤)5年間楽しかったです。(鹿野)この学校で人として大きく成長しました。今までありがとうございました。(田中)あつという間の5年間でした。ありがとう!(田淵)面白い人ばかりのクラスで、5年間楽しかったです。(玉井)長い間ポドゲに付き合っ頂きありがとうございました!(仲町)5年間ありがとうございました。(成田)高専に入学する気無かったけど入学して良かったです。(野城)本田圭佑になれる。(狭間)カルピスの原液レベルで濃ゆかった5年間でした~お世話になりました。(土師)高専に来て良かったです、お世話になりました。(橋本)この5年間で沢山の素敵な人に出会い、恵まれた環境の中で自分が成長できたことをとても嬉しく、誇りに思います。大分高専に来て良かったです。ありがとうございました。(浜野)関わってくれたみなさん、ありがとうございました!(吹田)我が恩師、工藤先生ありがとうございました。(松尾)5年間どうもありがとうございました。(間部)ありがとうございました。(三重野)長い間ありがとうございました!(光野)最近ケバブとシュラスコの違いを知りました。では、またいつか。(村上)あとまだ2年ある。(薬師寺)留年危機を5年間もよく耐えられたと思います。5年間お疲れ様でした。(吉田)5年間ありがとう。同窓会楽しみにしてます(^ ^)(ノオンリー)素敵な思い出をありがとうございました。



平成30年10月17日 体育祭



専攻科長
嶋田 浩和

専攻科修了、おめでとうございます。皆さんにとっては、7年間過ごした大分高専をいよいよ去る時が来ました。思えば自分の将来を熟考し本校の専攻科に入学したのが2年前のことですね。

本科との違いに戸惑いながらも、専攻科2年間学業に専念した結果得られた修了です。胸を張って将来に向かって進んでくれることだと思います。

今後、社会に出る人、更なる学業を積む人と進む道は異なりますが、これからは自分の足で立ち、自分の足で歩むことになります。様々なことが起きますが、しっかりとした自分を持ち、成長していくことを切に願います。いずれの途に進むにも、皆さんには夢を持ち、夢に向かって前向きに成長してください。

数年後の皆さんがさらに成長した姿をみせていただけることを楽しみにし、心から応援しています。

“頑張れ、専攻科修了生”

機械・環境システム工学専攻主任
軽部 周

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。在学時は講義、レポート、プロジェクト実験、特別研究、就職活動（または入試）と大変だったと思いますが、これまでの努力と専攻科で培った根性が、社会で活躍する原動力になることを願っております。

自分は、このクラスを担当できて本当に良かったです。いつも楽しい雰囲気、かつ集中すべき時は真面目にできる理想的なクラスでした。学外で会ったときも声をかけてくれて、とても嬉しかったです。

高専生はコミュニケーション能力が高く、職場の雰囲気を良くしてくれる、という話を多くの企業から聞いていますが、皆さんは既にその力を十分に発揮しています。社会に出ても明るく前向きに頑張る気持ちを忘れずに、仕事に学業に邁進してください。素晴らしい二年間をありがとうございました。

電気電子情報工学専攻主任
本田 久平

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。本科5年間を含めて、大分高専で過ごした7年間の学生生活はどうだったでしょうか。研究・勉学に頑張っていた皆さんの姿が思い浮かびます。

元気のある学生が多く、各自の考え方もしっかりしていましたので、担任としてはあまり心配せずに見てられるクラスでした。進路に関しても、大学院訪問や工場見学などの準備を自発的に行い、ほとんどが希望通りの進路決定だったのではないかと思います。

4月からの新しい環境での生活や新しいことにチャレンジしていくなかで問題や悩むことも多々出てくるでしょう。一人で問題解決をするのもよいですが、いろんな人に相談すれば、より良い解決法が見つかるはずです。

今後の皆さんの充実した生活と更なる活躍を願っています。

特別研究テーマ 一覧

【機械・環境システム工学専攻(MC)】

○秋永史也「高温下におけるフライアッシュ系ジオポリマーの性状変化」○麻生優衣「大分市中心部における熱環境緩和対策に関する研究」○伊東雄一朗「沖縄県内の農業用沈砂池における赤土等懸濁物質の凝集処理法」○植木寛大「自転車のすれ違い時における歩行者の危険感知度調査」○上野裕行「大野川中下流域における農業用地下水の水質浄化に関する基礎研究」○内田樹「コッホ曲線に基づく自己相似形状の建築架構への適用」○加藤英徳「高吸水性ポリマーによるコンクリートの耐凍害性並びにひび割れ抑制効果」○河野洋輝「大分川・大野川流域からのノンポイント負荷の流出過程に関する研究」○小嶋秀治「製鉄所産副産物である製鋼スラグの迅速かつ確実な膨張促進工法の開発」○小林綾斗「水素固溶および水素透過条件下におけるV系水素分離合金膜のDBTCへの影響とクリープ特性の評価」○徳澄翼「切削摩擦加工材の疲労強度に及ぼす残留応力および表面微細結晶粒の影響」○稗田玄太「フッ素系液体によるリチウムイオン電池火災消火システムの開発」○横田喜念「大分川の河川水温と熱収支に関する考察」○渡邊直人「金網を用いた整流効果についての研究」

【電気電子情報工学専攻(ES)】

○伊藤有汰「格子モデルと路面領域情報を用いた道路追跡」○尾崎光「表情認識のための顔特徴点位置推定に関する研究」○川野航平「インパルス電源開発におけるSiC製半導体素子特性試験」○熊代明「RGBDカメラを用いた手指形状情報の取得」○佐藤建「高電界によるエアロゾルの微生物滅菌手法の構築」○佐藤祐大「プログラミング教育におけるプログラム検証ツールの活用」○高野修平「記憶パターンに相関を持つ連想記憶モデルの想起特性」○津野龍「3DCNNを用いた地中レーダ画像の埋設物体識別」○浜野佑介「地中レーダ画像の物体識別における学習画像の改善とDCNNの特徴解析」○浜野遼太郎「OpenPoseを用いた指文字認識に関する研究」○泥谷亮太「電場印加によるリゾチーム結晶化促進効果」○前田涼吾「自動宅配サービスにおける動的経路最適化のための基礎研究」○宮崎皓士「高感度な電気光学効果測定システムの構築」○宮成祐輔「流星電波観測における観測地多点化のための基礎研究」○山内杜夫「超高層物理学におけるメタデータに着目した学術情報基盤の研究」

退職者及び新任職員挨拶

退職者挨拶



電気電子工学科 佐藤 秀則

大分高専に奉職して今日まで37年間、学生時代の5年間を併せると42年間の長きにわたりたいへんお世話になりました。

大学にお世話になった7年間はありませんが、その間も出身高専を尋ねられることが多くありました。遡れば兄の影響を受けて大分高専を目指したのが中学一年生のとき、以来“大分高専”の名は私の脳裏から離れることはなく、身体の隅々にまで染み込んでいるように感じます。

学生の頃は言うに及ばず、教職についてからも学生や先生方から大いに刺激を頂き、楽しませていただきました。思いがけず美しい世界を見たとき、分からなかったことが理解できるようになったとき、ものやプログラムを思い通りに動かせるようになったとき、企画や実験が成功したとき、学生の琴線に触れたとき、学生の製作した素晴らしい作品を見たとき、それぞれの一瞬はまるで宇宙と共鳴したような感覚。これがあるから、また歩もうと思うし、工夫する甲斐があるというもの。

今後についてですが、正直あまり考えはありません。いずれは「毎日が日曜日」になるかもしれませんが、今はまだ学生とともに共鳴したい。その思いでもう少し大分高専で仕事をさせていただきたく思っています。学生には折に触れ、「いつもここから」と話していますので、私自身も寄る年波に抗わず、「いつもここから」の気持ちで今後を送ろうと思っています。

最後になりますが、大分高専の学生をはじめ、元学生、先生方、職員、保護者の皆様には、多くの御理解、御支援をいただきましたことを心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

新任職員挨拶

技術部 工藤 桂輔

平成30年9月より、技術部へ着任致しました工藤と申します。主に電気電子工学科の実験・実習を担当しております。

私自身大分高専の卒業生、所謂OBであり、今回ご縁あって高専職員として勤めさせて頂くこととなりました。

実験・実習の指導において、電気電子工学科の先生、技術部の方々と連携して学生を指導することが多く、自分が学生時代にご指導頂いた方々と一緒に仕事をしている事がなんとも不思議な感覚になります。

前職はシステムエンジニアをしていた為、電気の専門分野から少し離れておりました。

正直なところ学生時代に行った実験の内容は既に忘却の彼方となって久しいのですが、いざ実験の復習をしてみると、自分の思った以上に実験の内容・理論を思い出すことができ、確実に技術を自分の力として身につける高専教育の真髄を卒業した今実感しております。

学生の私は、あまり成績が良くありませんでしたし、勉強も好きではありませんでした。ですが実験は大好きで、手際はかなり良かった方だと自負しております。また、製作課題や研究に関してはチャレンジ精神を大切に、難題に挑んでおりました。

学生の皆様にもチャレンジ精神を忘れず、自分の好きな分野に突き進んで行って欲しいと思います。どうにも乗り越えられない壁は、友人や先生の力をちょっと借りて克服して下さい。そうして壁を乗り越える度、確実に知識と技術が自分に身につけていきます。

これからの工業の将来を背負って立つ学生の皆様へのお手伝いが、母校大分高専への恩返しと思ひ、日々の業務に尽力する所存でございます。

どうぞ、よろしくお願い致します。

総務課財務係 漆間 雄輝

平成30年10月1日に採用となりました漆間雄輝と申します。社会人1年目になりました。

現在、私は会計に関する業務に携わっているのですが、学生時代に学んだことがないものも多く、とても大変ですが、周りの方々の丁寧で分かりやすい指導のおかげで自分なりに頑張っています。私が担当している主な業務としては、コンクリート受託試験料、寄附金、受託・共同研究、財産貸付、謝金の伝票作成と用度係や施設係が作成した伝票の照査です。これらのどの仕事も、私にとってやりがいのある仕事です。

私は学生ではなくなり、社会人となりました。そのため、学生時代よりもより自分の発言や行動にしっかりと責任を持たなければならないと思っています。そうしないと、周りの方々に迷惑をかけてしまうからです。自分では解決できないことは自分で解決しようとせず、周りの方々と相談することが重要だと思います。それを意識しながら毎日の職務に励みます。

まだ至らぬ点もあると思いますが、1日でも早く大分高専に貢献できるように努める次第です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

総務課企画係 村上 和子

平成30年9月1日より総務課企画係に事務補佐員として着任いたしました村上和子と申します。主にKOSEN4.0イニシアティブ採択事業である災害レジリエントマインド育成教育

を担当しております。

3月までは竹田市の公立中学校で事務職員として勤務しておりました。ご縁あって、大分高専の職員として勤務することになり、また学校現場で働けることに日々喜びを感じております。

学生の皆さんと関わることはあまりないと思いますが、売店や学食をよく利用するので、見かけた際はお気軽に声をかけてください。

趣味は4月に結婚したばかりなので、一応料理と公言しておりますが、自分で作るより、食べるの方がもちろん好きです。週末はたいてい美味しいお店探しをしています。高専の近くにも、飲食店があるのでお勧めのお店があれば教えてください。

勤務して3か月過ぎましたが、まだまだわからないことが多く、皆さまにはご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、微力ながら大分高専に貢献できるよう努力していきたいと思ひます。3月までの短い間ではありますが、何卒宜しくお願い致します。

総務課企画係 山平 麻衣

平成30年9月より、総務課付事務補佐員として勤務しております。山平と申します。普段は都市・環境工学科3階エレベーター横の研究室にて、災害レジリエントマインド育成事業に関する業務としてe-learningなどの作成を担当しています。

私は今まで小学生や中学生、大学生にかかわる仕事をしてきました。仕事内容はそれぞれ異なりますが、大分高専でも学生の方々の成長する姿を身近に感じ、僅かながらもその成長を手助けする仕事ができることを嬉しく思ひます。また、数ヶ月しか勤務していませんが、大分高専は学ぶのにはいい環境だと感じました。まだまだ先のことですが、ぜひ私の子供たちも大分高専を目指してくれればと思ひます。

今年度末までの短い期間ですが、学生や教職員の方々のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお祈り致します。

学生課学生支援係 看護師 木梨 聖子

平成30年11月1日付で学生課学生支援係に着任いたしました看護師の木梨と申します。前職は、看護師または保健師として主に幼児や高齢者の方々の健康の保持・増進に携わってきました。学校勤務は初めてで戸惑うことも多いですが、学生の笑顔や元気な姿を見ることが喜びとなっています。学生はいつも元気な声であいさつしてくれます。休み時間には笑い声が聞こえ、売店で買ったパンをほおばりながら教室へ向かう学生も見られ、頑張っってね!と思ひながら見送っています。

高専の学生は一人ひとり素晴らしい個性もっていて、学校生活、寮生活、その他諸々、日々いろいろなことを考えながら頑張っています。高専での5年間は長く、忙しい毎日です。そのため、みなさんが心身ともに元気で充実した学校生活を送れるように、努めてまいります。

普段は保健室にいて、体調不良の学生や負傷した学生の対応と、保健室に来た学生と話をしていますが、話をしたことがない学生も多く、全学生の顔と名前を早く覚えたいと思ひます。まだまだ不慣れなことも多いですが、精一杯努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



機 械 工 学 科

通 信



クラスの快挙

機械工学科長 小西 忠司

機械工学科の学生諸君、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、本クラスの学生数は42人ですが、1年生のクラス40人が揃って卒業できるのは快挙と言えます。1、2年担任の樋口先生、3、4、5年担任の中野先生、副担任、機械工学科、諸先生方のご指導と、諸君らの努力や協力の結果だと思います。

本クラスは、入学時から卒業時まで体育祭で連勝を維持しています。高専祭のステージ企画では本クラスの学生が多数出演しており、素晴らしい音楽の才能を見せてくれました。女子1名は、中学校とは異質の環境で逞しく成長し、機械工学科の他学年に在籍する女子学生の模範となってオープンキャンパス等でも頑張ってくれました。1年生から留年が危ぶまれていた2人は、再試験で不眠不休の努力により一度も留年することなく卒業ができました。40人以外の1人は、2年で原級留置されましたが、異なる環境で逞しく成長しました。もう1人は、私が副担任をしていた3年生の研修旅行ミーティングで、4年時に休学して外国留学するとクラスメイトを驚かせた学生です。勇気ある決断は、周囲の学生に良い刺激となったことでしょう。日本機械学会畠山賞を受賞した学生は、1年生から成績上位でしたが、不断の努力により、5年生ではトップになりました。日本設計工学会武藤賞を受賞した学生は、常に成績上位を維持していました。第46回可視化情報シンポジウムで、2名がアート賞の大賞を受賞しました。枚挙に暇がありませんのでこの位にしておきます。最後に、本クラスの卒業後の進路は、就職27名、進学13名、進学希望2名です。就職の1名は職人を目指し、進学の2名は専門学校で新しい分野に挑戦します。卒業後に諸君らとの再会を楽しみにしています。学校に遊びに来て下さい。



最後まで全力でやろう!

1M担任 大庭 恵一

入学してから1年が経とうとしています。5月の球技大会、10月の体育祭では、上級生にコテンパンにされ、高専の洗礼を浴びてしまいましたね(笑)高専祭の1Mは「かたぬき」。今では、お祭りでもほとんど見かけることはなくなりましたが、それがよかったのか最初から最後まで大盛況でした。おかげでクラスの結束が強くなったような気がしました。

前回の明野通信で触れました部活動は多くの部活動で全国大会に出場した学生が出ました。1Mも積極的に取り組んでいる学生が多いように感じているので、5年間でぜひ成果を上げてほしいものです。

学習面ですが、みんな進級に向けて各教科の勉強に取り組んでいることと思います。でも、私から見て、まだ真剣さが足りない学生が一部いるように感じます。「なんとかなる」ようで「なんとかならない」ことが多々あります。今できることを全力でやって、あとで後悔することがないようにしましょう。

3年に向けて

2M担任 坂本 裕紀

この一年間、皆さんはどのような感想を持っていますか?体育祭や高専祭等での楽しい思い出?レポートや追認試験に追われた思い出?定期試験に苦しんだり、逆に成績アップに喜んだ思い出?色々あるかと思います。ですが、まだまだ今は2年生。卒業までの道のりは、短いようで長いものです。3年になれば専門科目が一気に増えて、レポート等の課題も2年生の比ではなくなります。正直、きついと思います。これまでの感覚で過ごす、躓いてしまうかもしれません。勉学に関しては、気を引き締めて臨んでくれるよう祈っております。勿論、楽しいこともいっぱいあるでしょう。楽しむときは目一杯楽しみ、頑張るところは頑張れば、高専生活は充実するに違いありません。そして、進路もぼちぼちと考える時期です。悠長に考えず、色んな先生、そして家族とも話をしてみてください。

自分の個性と向き合って

3M担任 菊川 裕規

4月より高専生活後半を迎えます。4年生になると夏季インターンシップ等を通じて社会へはばたく準備が始まります。4年生は卒業後の進路を考える上で重要な学年です。希望する進路を選択するためには、まず自分の個性や特性と向き合うことが大切だと思います。自分の興味あること、個性と特性を活かせることは何なのか、目先のことでなく、卒業後約40年間を見据えて自分の居場所を探してください。ただし、自分がやりたいことと自分が持っている才能は違う場合もあります。名人と呼ばれる人の中には、最初はその職が嫌いで仕方なかったが、その道を極めていく中で才能を發揮し好きになっていった人もいます。自分の好きなことも重要ですが、自分の個性と才能を發揮できる場を見つけることが最も大切だと思います。

春休みの有効活用

4M担任 山本 通

研修旅行、体育祭、高専祭や音楽祭も無事に終わりました(研修旅行後の台風による混乱や体育祭での怪我也ありましたが...)。皆さんがこの記事を見る頃には進級も決まっているのでしょうか?高専4年生の学生生活はどうだったでしょうか?ちなみに私の目からは、皆さんそれぞれが充実した高専4年生を過ごしていたように思えました。高専祭でのお化け屋敷成功に夜遅くまで協力してくれた人(装飾コンテスト1位おめでとうございます!)、行きたい企業のインターンシップに参加するために履歴書等を一生懸命書いた人、外部のイベントに積極的に参加した人、4年生になっても引き続き部活動に頑張った人、学生会のメンバーとして学校行事の運営に関わってくれた人等、それぞれの高専4年生があったと思います。しかしそのような高専での生活も残り少なくなっています。いよいよ進路を真剣に考える時期です。是非、春休みのうちに、家族の方などに相談し、進路希望先を決定し、そこに行くための準備を進めてください。4月に入ると一気に慌ただしくなりますよ。



電気電子工学科

通信

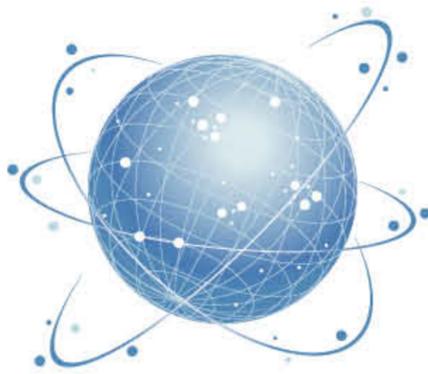


積極的に楽しもう!

電気電子工学科学科長 清武 博文

卒業する皆様、おめでとうございます。15歳から5年間の高専生活は如何でしたか? 体と心と魂を鍛えることはできたでしょうか? 勉強では、専門性が大きく増した電気電子工学の修得も大変だったでしょうが、工学実験ⅢでのPICを用いた設計製作、デザイン実習に加え、集大成となる卒業研究には各自打ち込んだことでしょうか。さらに、進路の決定と採用試験・編入学試験がありました。皆さんは様々なイベントや難関を無事通過して今があるのです。「あつという間だった」と感じるでしょうが、そこには経験があり、それぞれ成功や失敗の体験があり、大きな成長があったのです。是非今一度、高専生活の思い出を振り返り、その体験と感情を味わって見て下さい。その時に忘れてはいけないのが感謝の心です。様々な人々との関係があって、この日を迎えたのです。これからも感謝の心を忘れずに、健康に気を付けつつ、人生を謳歌しよう!

在校生の皆さん、4月からは新しいクラスで学校生活が始まります。ここで大切なのも、感謝の気持ちを持って学生生活を送ることです。学校に行けること、勉強できること、毎日の朝学習や試験を受けられること、運動できること、すべてにおいて感謝の気持ちを持って、積極的に取り組んでください。学生時代は極めて時間に恵まれている有り難い時代です。私の年代になると、それを痛感します。どうか、生活のリズムを整えつつ、勉強に、運動に、趣味に、仲間を巻き込んでおおいに楽しんで取り組みましょう。主役は君達なのです!



守・破・離

1E担任 辻 繁樹

みなさんが本校に入学されてから、まもなく一年が経とうとしています。前回の明野通信にも書きましたが、選り好みせず様々なことにチャレンジできた一年でしたでしょうか? 自分自身の事も含め、何か新しい発見、体験、出会いはありましたでしょうか?

まだまだみなさんには身につけるべき「エンジニアの基本」があります。例えば、「言われた事をその指示通りに実行できる」、「コミュ力を発揮し他者と協力して物事を"円滑"に進める」などです。これらの基本ができていない状態で好き勝手物事を進めてもうまくいかず、人生の経験値も思ったほど得られず非効率です。

来年度は「選り好みせず何事にも興味を持ち、チャレンジする」に加えて、ぜひ上記の例で挙げた能力向上にもチャレンジしてみてください!

「強い人」になろう

2E担任 藤本 教寛

あつという間に2年間が終わり、高専生活もいよいよ折り返しが近づいてきました。高専に入ってから2年間、新しい環境と、自由な風紀に多くの学生が成長し、そして墮落したことでしょう。

高専という環境において一番学びにくいことは、他を理解する寛容さではないかと考えます。5年間、基本的には同じクラスの仲間と過ごし続けるわけですが、良くも悪くもクラス替えはなく、そして良くも悪くも個性的な仲間達が一緒です。もちろん、衝突もあるでしょうし、相容れない部分はあるでしょう。しかし、それはお互い、子供ならではの視野の狭さによる弱さなのです。かのマハトマ・ガンジー曰く、「弱い者ほど相手を許すことができない。許すということは、強さの証だ」

高専もいよいよ折り返し。「強い人」になれるよう、残りの3年間で寛容さを深めていきましょう。

"In the middle of difficulty lies opportunity."

3E担任 北川 友美子

皆さんとは、1年次、2年次と数学の授業で週二回顔を合わせ、3年次はつい

に担任になりました。

ひとりひとり、個性豊かで、それぞれ違う人間性を持っている故に、全員に対して同じ言葉を贈るとするのは実に難しいことです。

私がひとりの数学者として、電気電子工学の研究・勉強に携わる皆さんに言えることは、難しいことや苦しいことから逃げないで欲しいと言う事です。必ず新しい発見やチャンスが隠れているはずだからです。(題目はアインシュタインの言葉)

私自身、今でも数学は難しいと感じますし、必ずしも予想通りの結果が得られるわけではないのですが、その中にまた別の問題意識を見出すことができるのです。これは、学問だけでなく、人間が生きていく上でも見られる現象ではないでしょうか。

苦しいからといって投げ出さず、とことんぶつかり格闘して、自分自身の姿を見つけてください。そこから何か素晴らしいことが始まるかもしれませんね。頑張ってください。私はいつまでも応援しています。

進路を決める上で

4E担任 田中 大輔

来月から本格的に始まる就職活動や数か月後に控えた編入学試験に向け、各々が準備していることでしょうか。

パナソニック創業者の松下幸之助氏は「一方は“これで十分だ”と考えるが、もう一方は“まだ足りないかもしれない”と考える。そうしたいわば紙一枚の差が、大きな成果の違いを生む。」とおっしゃっております。この「謙虚さからくる不安」を皆さんも持ってください。これぐらい、こんな感じ、これで十分、などと思わずに、まだ足りない、まだできる、まだすべき、と思って準備してください。そういった過程を踏んで得た成果は大きな自信になります。「これぐらい」で手に入れたモノは他者から見て羨しいモノだとしても、ある瞬間に「この程度」のモノになり、簡単に捨てたり軽んじたりできてしまいます。それは、本当の意味での大きな成果になりません。皆さんには就職・進学活動の中でその過程(行動や考え方)も重要視して、各々の路へ進んでほしいと願っています。



学び続ける力

情報工学科長 霧 浩二

本校卒業予定者の就職内定状況は今年も良好でした。情報工学科も、多くの企業から募集をいただき、学生が選択に困るほどでした。新規に募集があった企業の中には、従来は情報工学科学士の募集がなかった電気製品や工作機械などのメーカーもありました。就職担当の方によると、生産の効率化のためにはソフトウェアのスキルを持った学生が是非とも必要とのことでした。人工知能、IoTなどの用語がメディアから流れない日はなく、企業も様々な業種や担当業務でIT(情報技術) エンジニアを増やしているようです。

最近お話を伺ったインターネット通信機器企業の方は、ITの進化とともに、必要とされるスキルはどんどん幅広く、深くなり、数年後にはスキルを持つITエンジニアは深刻な人手不足になる一方、ITスキルのない人は、企業の省力・効率化により、就職先を見つけるのが困難になると予想されていました。ITの基本は、プログラミングやネットワーク、データベースの知識です。この基礎の上に、セキュリティやワイヤレスの技術が必要とされています。知識だけでなく、実際にコマンドを叩いて、問題点を検出し、解決するスキルが必要です。実験実習が多く、IT機器に実際に触れることが多い高専生は、これらのスキルを持っていると期待されています。ITは、進化スピードがとても速い分野です。新しい技術をどんどん学び、自分のスキルをどんどん進化させていく力が必要です。学生が高専で「学び続ける力」を身に付ければ、明るい未来が拓けると信じています。情報工学科でも、新しい実験や科目を取り入れ、カリキュラム編成を工夫して、学ぶ意欲に応えていきたいと考えています。

高専での1年間はいかがでしたか

1S 担任 プロハースカ・ズデネク

入学してから、早くも1年が経とうとしています。皆さんにとってどんな1年間でしたか。担任として力になれたか

どうかは不明ですが、皆さんと一緒に過ごせたこの1年が私にとってとても楽しかったです。

高専に入学してから、勉強の面で大変なことが沢山あったと思います。それでもこうした困難に負けず、優秀な成績を維持できた人の努力に深く敬意を表します。この1年間、本当によく頑張りました。一方、成績が思いどおりにならなかった人は、この1年の間、勉強にどのように取り組んできましたか。毎日スマホに邪魔されない時間を最低でも2時間確保して勉強してきましたか。予習を確実に行ってきましたか。授業中に居眠りすることなく集中して講義を聞きましたか。試験の直前だけではなく毎日こつこつ勉強してきましたか。こうした質問にこそ多くのヒントが隠されているのではないかと思います。

これからいよいよ2年生になりますが、入学の頃の初心を是非忘れないでほしいと思います。中国には「学如逆水行舟、不进则退」(学問は流れに逆らって舟を進めるようなもので、努力しなければ退歩する)ということわざがあります。是非この言葉をよく覚えて、2年生なってからも頑張ってください。

WHICH COURSE TO TAKE?

2S 担任 藤原 宏司

2年生という学年は、どんな学年だったでしょうか?後輩ができ、授業・部活・学校行事に慣れ、充実した一年でしたか?どうであれ、時は確実に流れ人を待ちません。世の中の大多数の同い年の人たちが、今どう過ごしているか知っていますか?彼らは1年後の旅立ちに備えて、懸命に準備をしているのです。

2Sの皆さんは何かの準備を始めていますか?まだの人は、とりあえず、良さそうな進路を思い浮かべて、その情報を集めてください。学科の事務室を利用するのも面白いですよ。4年生になる前に自分に合いそうな進路が見つければ、心にゆとりが生まれ、より充実した学生時代が送れますよ。

2年間皆さんの担任をすることができて、とても感謝しています。さらに大きく成長してくださいね。

「選択」しなかった後のケアを。

3S 担任 十時 優介

拙いながらも君達の担任をして早くも1年が経過しています。この文章を見る頃には次のステップが確実に見えているでしょう。(願わくはそれがプラスに向いている事を心から祈っています。)4年生に進級すると選択科目が、さらにその1年後には進路という選択が皆さんを待ち受けています。その時、選ばなかった方についてもぜひ考えてみてください。「ようやく苦手な〇〇から解放される!」なんて言いたくなる分野、苦手ながらもよく頑張りました。その際、頑張った記憶を初期化せずにおきませんか?今の産業界は単純なスペシャリストではなく、「総合的知識を持ったスペシャリスト」というちょっと矛盾した人材も求めています。その際にこれまで苦手な分野が役に立つはずは、くれぐれも終わった教科書を処分しないように。

就活・受験を控えて

4S 担任 徳尾 健司

(1) 自信を持ちましょう

自己分析や適職診断で心の奥を見つめすぎた結果、「自分には何のとりえもない……」と気が滅入っているところかもしれないかもしれませんが、それで萎縮してしまうとかえって良くありません。たとえ根拠のない謎の自信でも、前に踏み出すためには助けになることもあります。どこに自信を持ったらいいかわからない人は、ぜひ聞きにきてください。

(2) リスクヘッジはしておきましょう

みなさんには高い目標を掲げて、それに向かって挑戦してもらいたいのですが、一方で、努力が必ず報われるわけではない、という現実があります。うまくいかなかったときのために、第2、第3の進路先の候補を考えておきましょう。人間万事塞翁が馬、何が「良い結果」だったのかは、あとになってみないとわからないものです。



都市・環境工学科 通信



防災教育の充実

都市・環境工学科長 田中 孝典

今年も国内外で台風、豪雨、地震などの自然災害が発生しました。自然災害による被災地域をテレビの映像や新聞記事などで見ると益々災害による被害が甚大になっているように感じます。

こうした社会背景により、来年度から本学科では、防災関連教育の充実の観点から低学年では一般科目を含む授業を通して防災意識の醸成、高学年は専門科目の学習内容と防災技術の関連性などを学びます。

専門家によると、今後も日本では大規模な自然災害が増加すると分析しています。学生の皆さんには土木工学の専門知識と防災知識とを兼ね備えた土木技術者として社会に貢献されることを期待しています。

新しい時代を迎えますね

1C 担任 池田 昌弘

大分高専に入学して1年が経とうとしています。今年度を振り返ってみてどうだったでしょうか。中学生だった自分と比べて大人になった、それとも、あまり変わらないかなと感じる人もいるかもしれませんが、時間の経過は万人に等しいものだし、だからこそ、素敵に年を重ねていきたいものです。

さて、今年で平成の世が終わります。時代が動こうとしていることは皆さんも肌で感じていることだと思います。最近、私は『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』、という話題の本を買って、今、読んでいます。詳しくは本を読んでもらえば良いのですが、どうやら、人は地頭を鍛えて創造的な価値を生み出そうとしなければ、AIに仕事を奪われていく時代になるそうです。AIの台頭は一つの例ですが、新時代に上手く適応できるよう考えていきましょう。

クラスの素晴らしいところ

2C 担任 田中 美穂

高専生活の最初の2年間、どのような2年間だったのでしょうか？

2年生では、球技大会のソフトボールで優勝し、体育祭の玉入れ競争で3位になりました。高専祭でもみんな協力して準備段階から取り組みました。

2年生のバス旅行では、みんなが運転手さんにお礼を言い、進んで自分たちでゴミを集めて持ち帰る姿を誇らしく思いました。上の学年になっても、勉強や実験・実習、研究だけではなく、挨拶、片付け、清掃など何気ない日常生活を大事にしてほしいです。

唐突ですが、最後にガンディーの言葉を送ります。「あなたがすることのほとんどは無意味であるが、それでもしなくてはならない。そうしたことをするのは、世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためである。」今後も、自分の言葉や行動、考えを大切にしてください。

3C 担任を終えて

3C 担任 東木 雅彦

苦勞することも多かったけど、それ以上に担任して良かったと思えることの方がずっと多かったですよ。3Cは良い意味で子供っぽい、つまり健全な心の人ばかりのクラスです。クラス内で争いごとなど全くなく、お互いをとても尊重している様子は、担任として誇らしく思っていました。

ひとつだけ言わせてもらおうとしたら、来年度からは世間から成人と見られる年齢なので、もうちょっとだけ大人になる努力をして下さいね。少しずつでいいから。

保護者会でお会いした、みなさんのご父母は、本当にすばらしい人ばかりでした。ぜひ大切にしてください。孔子の

言葉を送ります。今の皆さんに相応しい言葉とはいえないかもしれませんが、ずっとあとになって思い出してくれたら幸いです。

子曰わく、父母の年は、知らざるべからざる也。一つには即ち以て喜び、一つには即ち以ておそる。

声を掛け合えるクラスの仲間

4C 担任 佐野 博昭

4Cクラス担任となって早9ヶ月、明野通信126号以降の行事として、9月26日～28日関東方面研修旅行(楽しい3日間、でも台風襲来)、10月17日体育祭(疲れました)、10月27日高専祭(楽しめました)、11月5日進路説明会(実感がわからない)、11月10日保護者会(どのような話が)、12月3日～7日後期中間試験(何とか乗り切りました)、12月19日SPI試験(難しい問題に四苦八苦)がありました。

今年は、水曜日3限目ALHの時間をフルに活用し、キャリア教育ということで多くの卒業生の方々に説明をいただく機会を設けてみました。皆さん、土木系の仕事の内容を理解できたでしょうか?この先、迷うこと、苦しいこと、つらいことがあります。お互いに声を掛け合っけて乗り切ることができるのがクラスの仲間、ファイトです。





専攻科

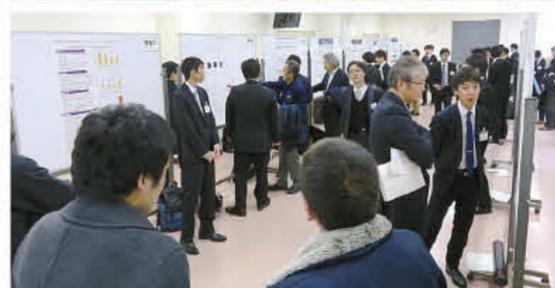
通信



第5回大分高専・大分大学 合同研究発表会開催

平成30年12月18日(火)に大分大学巨野原キャンパスにて「テクノカフェ大分2018 第5回高専・大学合同研究発表会～地域活性化と若手研究者の飛躍を目指して～」が開催されました。本発表会は、大分産業人クラブ、大分大学理工学部、大分工業高等専門学校三者主催で行われ、地場企業様と大学・高専の教員および学生が交流を深めました。大分高専専

攻科および情報工学科から19名、大分大学から11名が参加し、2分間のポスター概要講演と50分間のポスター発表を行いました。大分大学・大分高専の各校にそれぞれ最優秀賞1名と優秀賞数名が選ばれました。大分高専からは最優秀賞に吉田淳一郎君、優秀賞に中岡黎君・米光佑太君・秋月匠君の計4名が表彰され、発表後の懇親会でスピーチを行いました。とても立派な態度でした。来年度も、より多くの学生の積極的な参加を期待しています。



●外部発表一覧 (平成30年1月から12月までに発表済みのものを掲載)

※第5回大分高専・大分大学合同研究発表会は第5回合同研究発表会と略しています。

機械・環境システム工学専攻1年

●岩田隆正:焼結条件による多孔質チタンの加工特性と評価に関する研究、第40回日本バイオマテリアル学会、平成30年11月 ●河野祐斗:低落差水力発電のための小型ダリウス水車の開発研究、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●佐藤諒弥:歯科において実際に用いられるインプラントの作製と評価に関する研究、第40回日本バイオマテリアル学会、平成30年11月 ●高野陽平:走行自転車とすれ違う歩行者の危険感知に関する研究、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●長岡拓哉: Experimental study of stick-slip dynamics in periodically forced oscillators with dry friction、13th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics (13th ISEM)、平成30年11月 ●森太郎: V系水素透過膜の延性-脆性遷移固溶水素濃度に及ぼす水素透過の影響、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●吉田淳一郎: パナジウム系合金水素分離膜デバイスの応力解析と構造設計、第5回合同研究発表会、平成30年12月【最優秀賞】 ●米光佑太: 飽和・不飽和真砂土地盤の水分移動特性、第5回合同研究発表会、平成30年12月【優秀賞】

電気電子情報工学専攻1年

●井上敦暉: 前額部脳血流動態によるリアルタイム集中度計測、第26回2018年度電子情報通信学会九州支部学生講演会、2018年9月 ●小野源太: 表面筋電位信号を用いた繰り返し運動時の筋疲労の観測、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●佐藤賢太郎: 幾何学的制約ソルバを用いたリダイレクトウォーキングにおける歩行経路の導出、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●佐藤貴一: 機械学習によるHOLの自動証明に関する研究、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●中尾優太: 複数枚の劣化観測像からのゼロシフトを用いた像回復、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●中岡黎: AnoGANを用いたIC外観画像の不良品検出、第5回合同研究発表会、平成30年12月【優秀賞】 ●中岡黎: AnoGANを用いたIC外観画像の不良品検出、情報処理学会九州支部若手の会セミナー、平成30年12月 ●野尻大貴: ニューラルネットワークによる楽曲のサビ部分の識別、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●廣田憲幹: グレブナー基底を用いたナーススケジューリング問題の解法、第5回合同研究発表会、平成30年12月

機械・環境システム工学専攻2年

●秋永史也: 溶液のアルカリ水比を変化させたフライアッシュ系ジオポリマーの高温抵抗性、平成29年度土木学会西部支部研究発表会、平成30年3月 ●伊東雄一朗: 沖縄県内の農業用沈砂池における赤土等懸濁物質の凝集処理法、平成29年度土木学会西部支部研究発表会、平成30年3月【優秀講演者賞】 ●植木寛大: Study on dangerous sensations for pedestrians when bicycles pass、23th International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 23th 2018)、平成30年1月 ●上野裕行: 大野川中下流域における農業用地下水の水質浄化に関する基礎研究、平成29年度日本水環境学会九州沖縄支部発表会、平成30年3月 ●内田樹: コッホ曲線に基づく自己相似的形状とアフィン変換による形状操作、2018年度日本建築学会大会、平成30年9月 ●加藤英徳: ジオポリマーの部分吸水に伴う表層劣化に関する円柱供試体を用いた促進実験、平成29年度土木学会西部支部研究発表会、平成30年3月【優秀講演者賞】 ●河野洋輝: 大分川・大野川流域からの栄養塩の流出過程に関する研究、平成29年度土木学会西部支部研究発表会、平成30年3月 ●小嶋秀治: 双曲線近似法を用いた製鋼スラグの長期水浸膨張比の予測手法に関する一考察、平成29年度土木学会西部支部研究発表会 ●小林綾斗: V-Fe水素分離合金膜の単軸引張特性、第28回MRS年次大会(全国高専社会実装材料研究シンポジウム)、平成30年12月 ●徳澄翼: 摩擦加工材の疲労強度に及ぼす残留応力および表面微細結晶粒の影響、日本機械学会九州支部第71期講演会、平成30年3月、摩擦加工材の内部疲労き裂停留挙動に及ぼす圧縮残留応力の影響、日本機械学会M&M2018材料力学カンファレンス、平成30年12月 ●渡邊直人: 金網を通過する流れの一様性に関する研究(線径と開口比の影響)、日本機械学会九州支部第71期講演会、平成30年3月、Characteristic of turbulent flow through the flat-woven wire mesh (Effect of wire diameter and open area ratio)、29th International Symposium on Transport Phenomena、平成30年11月

電気電子情報工学専攻2年

●伊藤有汰: 格子モデルと路面領域情報を用いた道路追跡、第5回合同研究発表会、平成30年12月 ●川野航平: インパルス発生装置開発のためのSiCデバイス特性試験、平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会、平成30年9月 ●佐藤建: VRE懸濁液インピーダンスのモデリング及びその殺菌効果の検証、平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会、平成30年9月 ●浜野佑介: YOLOを用いた地中レーダ画像からの埋設物体検出、電子情報通信学会PRMU研究会、平成30年12月 ●泥谷亮太: 電場印加によるリゾチーム結晶化促進効果、第18回日本蛋白質科学会年会、平成30年6月 ●前田涼吾: The verification of the edge recombination method based on a neighborhood solution for the traveling salesman problem with time windows、International Symposium on Innovative Engineering 2018、平成30年1月

各種報告

高専ロボコン2018 (地区大会)

今年の競技は「Bottle-Flip Cafe(ボトルフリップ・カフェ)」。高さや大きさが違う複数のテーブルにペットボトルを投げて立たせる競技です。リモコンで動かす「手動ロボット」と自分で動く「自動ロボット」の2台が必要でした。テーブルの位置を認識して正確に動くことができるロボットの開発に挑戦しました。

九州地区大会は10月21日(日)、みづま総合体育館(久留米市)で行われました。Aチームは予選リーグで敗退してしまいましたが、Bチームは決勝トーナメントにコマを進めました。トーナメント初戦は都城高専との対戦でした。ロボットの性能は互角でしたが調整が最適でなく、本来の能力が発揮できないまま悔しい敗戦となりました。推薦枠にも選出されなかったため、残念ながら全国大会への出場が叶いませんでした。学生たちは高度な課題に果敢に取り組みますが、その努力が報われない結果となってしま

いました。次回は地区大会が大分で開催されます。今年の無念を地元で晴らすべく、更に努力と挑戦をしていきます。大会出場にあたり、応援や募金などご支援下さった皆様に、顧問一同、厚く御礼申し上げます。



出場メンバー：西川創太(5M)、池田圭佑(4M)、高橋慶多(3E)、執行晃(3M)、田中芳樹(3M)、川野陽介(2S)、村田一陽(5M)、内田達紀(4M)、野田琉人(4M)、羽田野天(4M)、秦勘太(3E)、新野稜(3E)、須藤優樹(1M)、添田海斗(1M)、長谷川陽仁(1M)、今泉駿(1E)

第55回 九州高専ラグビー大会

「捲土重来を期す」今年のラグビー高専大会は、11月10日から熊本県民総合運動公園スポーツ広場で行われました。ラグビー部は出場を目指し人数集めから練習と部員一同頑張ってきましたが、大会目前に負傷者が続出し、安全面を考慮し、断腸の思いで今大会の出場を辞退することにしました。5年生には最後の思い出を作ることができず残念です。来年は出場を目指し、4年生以下の部員が練習に励んでいます。応援よろしくをお願いします。

全国高等専門学校 第29回 プログラミングコンテスト

電子計算機部は10月27日～28日に徳島県で開催された全国高専プログラミングコンテスト(競技部門)に参加しました。

今年の競技は、囲碁に似た陣取りゲームで、いかに多くの陣地を占有できるかを競うものです。各チームは1名の指令塔と、司令塔の指示に従って行動する2名のエージェントと呼ばれるメンバーで構成されます。盤面は、エージェントが行動できるように大きなフィールドになっています。指令塔はどこにエージェントを動かして陣地を拡大していくかを、チームで開発したプログラムで計算して、エージェントに指示します。司令塔は40手先まで読む必要があるため、組み合わせ数が膨大であり、陣地を広げるための最適な動かし方をはじき出すのは容易ではありません。そのため、半年かけてプログラムを開発してきました。

大会では、全国の高専から60チーム、モンゴル、香港、ベトナム、マレーシアの大学から各1チームの合計64チームが参加しました。まずは4チーム毎でリーグ戦が行われ、その中の1位が決勝トーナメントに進みます。大分高専は他の3チームに圧勝して決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメント初戦では仙台高専名取キャンパス(本大会優勝校)に惜敗しましたが、仙台高専と対等に戦

えたことは、本校の今年のプログラムが優れていたことを示しています。

大会参加にあたり、関係の教職員に大変お世話になりました。ありがとうございました。

出場メンバー：佐藤凌誠(4S)、田中志貴(2S)、小手川康太(2S)



平成30年度 第23回 西日本地区高専駅伝競走大会

2018年12月27日に山口きらら博記念公園にて、東は愛知県から西は鹿児島までの15高専が集まり、7区間の駅伝大会が行われました。引率は、学外コーチの橋本氏、顧問の前、大庭で行いました。レースは最長10kmの1区で宿野(4M)が区間4位と好位置でつなぎました。その後の選手たちもよく粘って総合6位でレースを終えました。中でも最終7区の矢野は1年生ながら区間賞を獲得しました。来年は3位以内目指して頑張ります。出場メンバーは以下のとおりでした。

1区(10km)宿野圭佑(4M)-2区(3km)田尻隼人(1E)-3区(8km)栗誠哉(3S)-4区(3km)染矢一樹(1M)-5区(8km)岩田隆正(A1MC)-6区(5km)吉田圭吾(3E)-7区(5.195km)矢野稜之(1C)*区間賞



学生會便り

2018 高専祭



高専祭実行委員長
電気電子工学科
5年 津代 啓斗

2018年があっという間に終わってしまいました。高専祭実行委員長の津代です。今年度の高専祭はいかがでしたか？ぼくは高専生活5年間で1番記憶に残るものになりました。

高専祭のテーマ「千秋楽」には、平成最後、またぼくら5年生最後の高専祭をすばらしいものにしようという意味を込めました。みなさまがこのように感じていたならば嬉しいです。

先日、新しい学生会役員が決定し顔合わせをしました。みんなやる気に満ちた顔でとても頼もしく思えました。

これからは彼らが学校の行事をつくっていくのだと思うと期待と少しの寂しさがあります。ぼくはぼくたちの代の学生会が最高だと思っているのでぼくらを越えられるものなら越えてみるという気持ちが一番強いんですけどね。

ぼくの自慢は周りに恵まれていたことです。辛い時に支えてくれたクラスメイトの伊藤くんや後藤くん。辛い時を共に過ごした副実行委員長の森山くん、委員の清藤くん、植木ちゃん、学生会長の小野くん、音楽祭実行委員長の大窪くん、全員書けなかったけど学生会役員のみんな。今までありがとう。卒業して離れていてもズッ友だよ。

最後になりますが高専祭に協力していただいた方々、本当にありがとうございました。みなさまのおかげで高専祭の成功をおさめることができました。

前高専祭実行委員長の本田さんから頂いたアツい言葉を在校生へ送ります。

「自分のやったことに責任と誇りを持って。」青春ですね。来年度の高専祭が素晴らしいものになることを期待しています。がんばれ在校生。

2018 音楽祭



音楽祭実行委員長
機械工学科
5年 大窪 律哉

音楽祭実行委員長の大窪です。11月3日(土)に第52回音楽祭が大分高専 第1体育館にて行われました。前年同様、会場が体育館ということで様々な不安要素がありましたが、多くの方々にご来場して頂き感謝しております。

今年度は、明愛会が創立50周年ということで卒業生の方々による演奏も取り入れさせて頂きました。何年経ってもブランクを感じさせないパフォーマンスは現役部員の皆さんにも良い刺激となったのではないのでしょうか。

また、私自身も卒業生の方々の演奏にピアノで参加させて頂きました。とても緊張しましたが今後こういった行事に携われないと思うと、確かに思い出に残る良い経験となりました。

この、卒業生とのコラボやステージの増設など、私たち運営でも新たな挑戦をした1年でしたが、やはり相談に乗ってくれる先生方と吹奏楽部・軽音楽部の皆さん、そして学生会の仲間たちがいてくれたからこそ成しえたものだと思います。

たくさんの方々に支えてもらったからこそ、第52回音楽祭は成功したと言えます。こんなに素晴らしい演奏を聴けたこの日を忘れることは無いです。

来年以降、1人でも2人でもこの音楽祭から音楽を好きになったという人がまた、来てくれればいいと思います。本当にありがとうございました。



学生會便り

新学生会長挨拶



学生会長
機械工学科
4年 森 光志郎

この度、学生会長を務めさせていただくことになりました、機械工学科4年の森光志郎です。自分にとって学生会長という看板はとても重たいもので、僕の発言の一つ一つに責任が伴う事を考えると、身が引き締まる思いがします。これから1年間、歴代学生会長に負けないように頑張っていきたいと思うのでよろしくをお願いします。

私は、1年間副会長として学生会に参加してきました。そこで気づいたことは、大分高専の魅力はなんといっても学生のみなさんの明るさにあるということです。各行事に真剣に取り組む姿勢や熱意が高く、体育祭などで科を代表して競技に打ち込む姿はいつも私たちを感動させてくれます。その熱意は何者にも変えられない私たちの魅力だと思います。

そこで、私たち学生会が皆さんの魅力を高めるために大分高専を支えなければなりません。

大分高専には体育祭、高専祭、音楽祭などの三大祭りとその他の多くの行事が存在します。それらの運営は簡単ではありませんが、役員全員の持てる力を持って、学生の皆さん、教員の皆さんと協力し活気ある大分高専を築きたいと思えます。

新副会長挨拶



副会長
都市・環境工学科
3年 佐藤 春輝

こんにちは、この度学生会副会長になりました、都市・環境工学科3年佐藤春輝です。

寒さの中にも春の足音が聞こえてくるような季節で梅の便りが待ち遠しいばかりです。歴代会長に憧れを持っていたこともあり1年間学生会で活動してきたことで、学生の中心となって行事の企画・運営を行う楽しさ、大変さをたくさん学びました。特に三大祭りシーズンでは息つく間もなく行事が行われる中で活動を行う先輩方を見て、学生会なしでは行事はおろか、高専が成り立たないのではないかと…と思わせるほどに心を動かされました。

僕が大分高専で3年間生活してきた中で、この学校の魅力は皆さんの元気さだと感じました。僕は皆さんの元気を最大限に引き出すことを目標とした活動を行ってきたいと思います。

副会長の活動で最も大きなものと言えはやはり前夜祭の運営だと思います、今までの良い部分を引き継ぎつつ、新しい何かを生み出せるよう日々精進したいと思います。

1年後には「副会長を任せてよかった」「大分高専に佐藤春輝あり」と言ってもらえるよう、皆さんに安心して会長を任せてもらうべく、大分高専の顔ともいえる存在として、学生会の他メンバーとともに艱難辛苦を乗り越え血汗涙を流す思いで頑張ろうと思います。

学生の皆さん、1年間よろしくお願ひします。



寮生会便り

平成30年度後期 明野寮行事予定

【9月】

- 24日 開寮
寮生役員定例会
寮生全体集会

- 25日 登校日

【10月】

- 17日 体育祭
- 18日 寮生リーダー研修
- 27日 高専祭

【11月】

- 3日 音楽祭
- 8日 寮内清掃・除草作業
- 10日 保護者会
- 15日 寮生役員定例会

【12月】

- 13日 学寮バレーボール大会
- 21日 閉寮

【1月】

- 6日 寮全体集会
- 17日 寮生役員定例会
- 25日 寮祭準備
- 26日 寮祭

【2月】

- 8日 卒業生退寮前ミーティング
在寮生部屋移動説明会
- 22日 終業式
第一次閉寮（再試無）
- 27日 最終閉寮

【3月】

- 18日 卒業式



平成31年度

【4月】

- 2日 開寮
寮生全体集会
寮生役員定例会
- 3日 入学式・入寮式
- 4日 始業式

寮生会長挨拶



電気電子工学科 4年
坂本 泰都

寮生会長の坂本泰都です。就任して約半年ほど経ちますが、寮生は何の問題もなく過ごせていると思います。

後期に入って最初の行事は除草作業がありましたが、みんな集中していて寮がきれいになっていったと思います。みんなで寮をきれいにするという意識をこの行事で再認識して今後の生活でも寮をきれいに維持していけたらいいなと思います。

また、テスト後にはバレーボール大会があり、白熱した戦いが繰り広げられ、みんな楽しんでいました。しかし、チーム数が減っている、下級生の参加が少ないなど課題もあったので、今後それらの課題について考えていけたらいいなと思っています。

寮最大の行事である寮祭も1月に開催され楽しく活動できていたと思います。

今年は特に変わったことは出来なかったのですが来年、吉田君には頑張ってもらいたいです。私は特にリーダーシップがあったり、話術があったりするわけでもなく、お手本になるような生活も送っていませんが（なんで寮生会長になったんだろう？）、まあ緩くやっていきたいと思っています。

今後は入寮式や歓迎会、映写会などがあります。新入生が入ってきて新しい環境に変わり、寮生活が始まるので、変な寮生会長と思われたいようにはしたくないなとは思っています。任期も残りわずかなので新年度からも頑張っていきたいと思っています。

寮生副会長挨拶



電気電子工学科 3年
吉田 圭吾

先日、寮では寮生バレーボール大会が行われました。残念ながら今回は女子寮生の参加はなかったものの、1～5年生全学年の参加、「他学年との交流」という面ではとても良い行事になったのではないかと僕は思います。

結果は最高学年である5年生チームが意地をみせ優勝。惜しくも敗れましたが5年生チームをあと一步のところまで追い詰めた4年生チームが準優勝という結果でした。今年度最後のバレーボール大会でしたがそれに相応しい素晴らしい大会であったと思います。

さて、2018年度もあと少しとなりました。寮生のみなさん、今一度、私生活を見直してみてください。ちゃんと朝、起きて遅刻せず学校へ行けていますか？挨拶はできていますか？細かいところもしっかり見直し、2019年度へ繋がるよう残りの2018年度を過ごしていきましょう。

寮生のみなさん、そして薬師寺先生をはじめとする寮の先生方、副会長としてより責務に励んでまいりますのでこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

学生寮



留学生通信

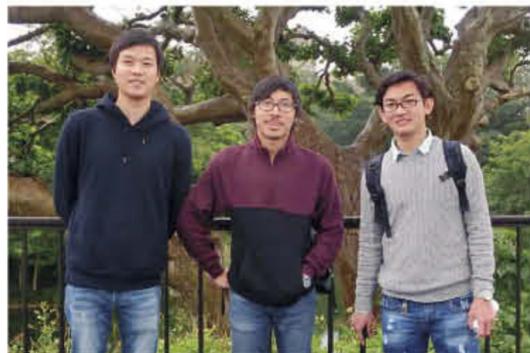
面白い国

情報工学科 3年 バチュカ

私はモンゴルから来ました。日本に来たのは初めてですが、前から日本のことが興味を持っていました。

子供の頃から相撲をみて、初めて日本という国のことを知りました。そして、アニメやドラマをみて日本人の日常生活を少し分かりました。その時、日本についてのドキュメンタリーよくみて新幹線や侍や桜の花などのいろいろな面白いことを学びました。日本の教育レベルはモンゴルより高いのでチャンスがあったらそこに留学したいと思いました。そして、日本で学んだ技術を用いて自国を日本のように開発したいを思いました。その思考を持って、そして、日本のことを詳細に調べるために日本の留学に決めました。

私はここでもっといろいろな面白いことをしたり、学んだりするのを楽しみにしています。



左から
バチュカさん ハジフさん ノオンリーさん



ヒーロー

機械工学科 4年 ハジフ

みなさんは、子どもの頃にあこがれていたものがありますか。わたしはマレーシアで子どもの頃から日本のテレビ番組を見て育ち、仮面ライダーが好きでした。仮面ライダーのようなカッコいいヒーローになりたいと思っていました。しかし、多くの人が大人になるとあきらめていくのと同じように、中学生の頃には私もヒーローにはなれないと思うようになりました。その頃の私は消極的で、友達がなかなかできませんでした。でもヒーローのように、周りの人に優しくすることを心掛けていました。

ある日、いつものように学校の食堂でご飯を食べていました。すると、後ろから友達の楽しそうな話し声が聞こえてきました。私のことを話しているようでしたが、私には気が付いていないようでした。「あいつ、ほんとバカだよな、俺たちにいつもおごってさ、俺たちのいい財布だよな。」私はショックでした。その後、私は友達のことが信じられなくなり、1年くらい寮にひきこもるようになりました。

それから、寮の隣の部屋の人が、私の部屋によく来るようになりました。私の様子を心配して、毎日のように声を掛けてくれました。その人は、「他人に優しくする前に、まず自分のことを考えたほうがいいんじゃないか」と言いました。それから少しずつ、私たちは仲良くなりました。いろいろなことに一緒にチャレンジをして、私はその友達からたくさんの元気と勇気をもらい、考え方も、性格も明るくなっていきました。その友達が応援してくれ、日本に留学することもできました。

もし、その友達に出会っていなければ、今の私はいないと思います。まさしく私にとってのヒーローです。私も日本やマレーシアで、いつか誰かのヒーローになれるように、自分にできることにチャレンジしていきたいです。

次世代の社会を創造する

都市・環境工学科 5年
ノオンリー

カンボジア出身のウン・ノオンリーと申します。母国を出たのは今年で4年になり、大分では3年間過ごしました。親切な人ばかりに会って良かったと思います。

豪雨、台風、地震、津波などは自然災害で、それに立ち向かうためにやはり災害に強い都市、いわゆるレジリエンスのある都市、人材をつくらなければならないのです。また、地球温暖化や都市化による気温の上昇であるヒートアイランドなどは自分の都市、自分の国ではなく、世界全体の環境問題です。したがって、それらの問題を解決するために世界の国々、言い換えると、地球上に住んでいる人々の協力が必要不可欠だと私は思います。

18世紀の産業革命による経済発展は人類の最大の革命と言われており、世界の人々の生活が良くなってきています。また、20世紀末から今までのグローバル化による経済発展もそれに匹敵する大きな出来事です。しかし、産業革命以来地球温暖化に伴う温室効果ガスであるCO₂等が増え、2100年までに地球の気温が3℃まで上昇する可能性が高いと予想されています。結果、災害の多い日本だけでなく世界のあらゆるところで災害が起きています。

でも、ここで諦めちゃダメ!、まず、「命が全て」。防災減災の教育をきちんと身に付け、レジリエンスのある住民になり、災害発生時に自助、共助という形で命を救います。次に、「環境は自分達で守る」。住民として地球に優しい行動をし、技術者として利便性だけでなく、安全性、健康性を重要視する。また、環境への影響を最低限に抑えるような次世代に向かう革新的な開発とグローバル化を進める事は、人類が生き残る唯一のミッションだと私は強く思います。

平成30年度 学科別進路状況

平成31年2月15日現在

Table with columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (M, E, S, C), 計. Rows 1-36.

Table with columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (M, E, S, C), 計. Rows 37-72.

Table with columns: 番号, 就職および進学先, 学科名 (M, E, S, C), 計. Rows 73-21, including sub-totals for graduates and students.

M: 機械工学科 E: 電気電子工学科 S: 情報工学科 C: 都市・環境工学科

平成30年度 専攻科進路状況

平成31年2月15日現在

第15期:平成30年度(2018年) 修了予定者(29人) 嶋田専攻科長

Table with 2 columns: 機械・環境システム工学専攻(14人), 電気電子情報工学専攻(15人). Lists specific graduate programs and institutions.